

ヒドロキシクロロキン 硫酸塩錠200mg「サワイ」を 服用されている方へ



目 次

全身性エリテマトーデス・皮膚エリテマトーデスについて	2
ヒドロキシクロロキン硫酸塩錠200mg「サワイ」について	3
副作用について	5
日常生活での注意点	裏表紙
眼科検査の予定表・記録	裏表紙

全身性エリテマトーデス・ 皮膚エリテマトーデスについて

エリテマトーデスには、全身に症状が出る全身性エリテマトーデスと、皮膚だけに症状が出る皮膚エリテマトーデスがあります。

全身性エリテマトーデスとは、発熱や全身倦怠感^{けんたいかん}などの全身症状と、関節、皮膚、内臓などのさまざまな症状が一度に、あるいは次々と起こる病気です。その原因は、今のところわかっていませんが、自分の体を自分の免疫が攻撃してしまう、自己免疫反応という免疫の異常が原因のひとつと考えられています。

■ 全身性エリテマトーデスの症状

一般的に、全身症状、関節症状や皮膚症状がほとんどの患者さんにみられます。さらに、さまざまな内臓、血管の病気があらわれる患者さんもいます。

全身症状：発熱、全身倦怠感(だるい)、疲れやすいなど

関節症状：関節炎を起こすと、その部位が腫れて痛みます。

皮膚症状：丸い発疹^{ほっしん}が重なりあい、少し盛り上がっているのが特徴です。

■ エリテマトーデスの皮膚症状

- 皮膚症状で最も特徴的なのは、頬にできる蝶形紅斑^{ちょうけいこうはん}(蝶が羽を広げた形をしている赤い発疹)です。
- 表面にかさかさする鱗屑^{りんせつ}(白くて薄いかさぶたのようなもの)を伴う円板状の紅斑も、この病気に特徴的で、主に顔面、耳、首のまわりなどに発生します。
- 日光にあたった部分に紅斑、水疱、あるいは熱が出ることがあります。
- 寒冷刺激によってレイノー現象(手指が白く冷たくなる)^{とうそう}や凍瘡(しもやけ)様紅斑が出ることがあります。

ヒドロキシクロロキン硫酸塩錠200mg「サワイ」について

ヒドロキシクロロキン硫酸塩錠200mg「サワイ」は皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデスの治療薬です。

エリテマトーデスの皮膚症状や、全身性エリテマトーデスの全身症状および筋肉・関節の痛みなどの症状をやわらげるはたらきがあります。

■ このお薬の服用方法

服用方法は患者さんによって異なります。

医師、薬剤師に指示された量を正しく服用してください。

▶ 4ページをご覧ください。

女性患者さんの場合

身長	136cm以上154cm未満	154cm以上173cm未満	173cm以上
理想体重	31kg以上46kg未満	46kg以上62kg未満	62kg以上
1回 投与量	 1錠(200mg)	 /  1錠(200mg)と2錠(400mg)を1日おき	 2錠(400mg)

男性患者さんの場合

身長	134cm以上151cm未満	151cm以上169cm未満	169cm以上
理想体重	31kg以上46kg未満	46kg以上62kg未満	62kg以上
1回 投与量	 1錠(200mg)	 /  1錠(200mg)と2錠(400mg)を1日おき	 2錠(400mg)

注)「理想体重」とは、身長から特定の計算式で算出される体重のひとつで、必ずしもあなたにとっての「理想的な体重」を指し示すものではありません。

■ あなたの服用する量について

- このお薬の服用中、まれに網膜症が起こることがあるので、指示された量を正しく服用することがとても大切です。

あなたの服用方法は

☐

1日1回 **1錠**

☐

1日1回 **1錠と2錠を1日おき**

☐

1日1回 **2錠**

- 服用し忘れた場合は、決して**2回分を一度に服用しない**でください。
1錠と2錠を1日おきに服用されている患者さんが**次に服用する際は、服用し忘れた日の分**を服用してください。

■ 副作用を早期発見するために定期的な眼科検査がとても重要です。

▶5ページをご覧ください。また、裏表紙の予定表・記録をお役立てください。

副作用について

- まれに**網膜症**があらわれることがあり、注意が必要です。長期投与により、リスクが増大するおそれがあります。

網膜症は、視力が下がる、色が見分けにくくなる、視野が狭くなるなどの症状がみられ、進行すると、標的黃斑症という障害があらわれます。障害が進むと服用を中止しても進行する可能性があり、失明の危険があります。

- **薬疹**や**皮膚粘膜眼症候群**（スティーブンス・ジョンソン症候群）があらわれることがあります。

このお薬の服用中に起こる重度の皮膚障害は、服用を始めてから1ヵ月以内に起こることが多いとされています。

いつもと違う皮膚症状が出たときは、すぐに受診してください。

定期的に（少なくとも年に1回）眼科検査を受けましょう。

網膜症を早期発見し、障害を最小限にするために眼科検査が重要です。

初期の網膜症は自覚症状がないことが多いので、視力検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査、視野テスト、色覚検査、光干渉断層計検査などの眼科検査を定期的に（少なくとも年に1回）行うことが必要です。

とくに、下記の患者さんは、より頻回に眼科検査を行ってください。

- 長期にこのお薬を服用している患者さん
- 肝臓や腎臓の機能が低下している患者さん
- 視力障害がある患者さん
- 高齢の患者さん
- その他、医師から頻回に検査が必要といわれた患者さん

● **低血糖**の症状に注意してください。

低血糖とは、血液中の糖分が少なくなりすぎた状態です。

[低血糖の症状]



低血糖は進行すると意識を失うこともあるため、
症状がみられたら早めに対処する必要があります。

[低血糖の症状がみられた時の対処法]

早めに気づいて対処することで、重い低血糖症状を避けることができます。
まずは糖分（ブドウ糖、ブドウ糖がない場合は角砂糖、シュガーレスでないアメ・ジュースなど）を補給しましょう。

それでも症状がおさまらない場合は、すぐに医療機関に連絡してください。

● **肝機能障害**の症状に注意してください。

肝臓の機能が低下したり、血液検査で肝機能検査値（AST、ALT、 γ -GTP）が高くなる場合があります。

[肝機能障害の症状]

けんたいかん
倦怠感（けんたいかん 疲れやすい、体がだるい、力が入らない）、食欲不振、吐き気・おう吐、
腹痛、発熱、ほっしんじんましん、かゆみ、おうだん黄疸（白目や皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる）など

副作用と思われる症状があらわれた場合は、
医師、看護師、薬剤師に相談してください。

日常生活での注意点

- エリテマトーデスの患者さんは日光にあたることで症状が悪化するおそれがあります。
 - ・ 強い紫外線の下で長時間過ごすことは避けましょう。
 - ・ 日傘や帽子、長袖の衣服で、できるだけ肌を露出しないようにしましょう。
 - ・ 日焼け止めや日焼け止め化粧品などを使って、紫外線を防ぎましょう。
- ストレスや過労にも気をつけましょう。

眼科検査の予定表・記録

	1 回目	2 回目
検査の予定日	年 月 日	年 月 日
検査をした日	年 月 日	年 月 日
メモ		